

ナンバリングコード B3LAA-caxG-5N-Ep2 授業科目名 (時間割コード: 050106) 高度教養主題科目 DRIイノベーター養成プログラム課題研究 DRI Research	科目区分 高度教養教育科目	時間割 2022年度 前期集中	対象年次 1～
	水準 学士: 応用科目 分野 高度教養教育科目	提供部局: 大教センター DPコード: cax	対象学生 特プロ履修学生のみ 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 演習 PBL	単位数 2	
担当教員名 小坂 有資, 石塚 昭彦, 高橋 亨 輔, 藤澤 修平	関連授業科目 DRIイノベーター養成プログラム対象科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回+自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
これまで履修したプログラム対象科目の内容を踏まえて、課題研究レポートとそのプレゼンテーションを行います。具体的には、課題研究レポートの課題設定、データの収集とそれらをもとにした分析や活動(プロジェクトやプロトタイプの開発等)、課題研究レポートの執筆とそのプレゼンテーションというステップを踏みます。			
授業の目的			
DRIに関連する課題を設定し、その課題を探求もしくは解決することができる。さらに課題を探求もしくは解決することで、地域社会にイノベーションを創出するためのヒントを見つけることができる。			
到達目標			
1. DRIに関連する課題を設定することができる。 2. DRIに関連する課題を探求もしくは解決するために、研究や活動(プロジェクトやプロトタイプの開発等)を行うことができる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。 3. 研究や活動を通じてみつけた地域社会にイノベーションを創出するためのヒントについて説明することができる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)。			
成績評価の方法と基準			
課題研究レポートやプレゼンテーション資料とその作成過程、中間発表、全体発表を総合的に評価します。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
【授業計画】			
第1回 レポート・プレゼンテーション資料作成についてのガイダンス			
第2回 DRIに関連する課題設定1			
第3回 DRIに関連する課題設定2			
第4回 課題を探求もしくは解決するための方法の検討(データ・AIを活用した実施計画の作成など)			
第5回 データや資料等の収集のための調査や実験等1			
第6回 データや資料等の収集のための調査や実験等2			
第7回 収集したデータの分析や活動(プロジェクトやプロトタイプの開発等)1			
第8回 収集したデータの分析や活動(プロジェクトやプロトタイプの開発等)2			
第9回 中間発表会			
第10回 レポート・プレゼンテーション資料の作成1			
第11回 レポート・プレゼンテーション資料の作成2			
第12回 レポート・プレゼンテーション資料のブラッシュアップ1			
第13回 レポート・プレゼンテーション資料のブラッシュアップ2			
第14回 全体発表会1			
第15回 全体発表会2			
【授業方法】			
前期集中(夏休みを予定)で、1日に4回ずつ授業を実施します。第1回および第14・15回以外の授業は、調査や実験等、分析や活動(プロジェクトやプロトタイプの開発等)の進捗状況に応じて、適宜日程を決定します。全体発表会は、D・R・Iすべてのコースの学生が集まって行います。この科目は基本的に対面授業を行います。			
【自学自習のためのアドバイス】			
第1～4回 事前に「はじめて学ぶDRI」の授業内容をふりかえる。第1～4回の授業内容をふりかえる。			
第5～8回 中間発表会の発表内容を完成させる。			
第9～12回 全体発表会の発表内容を完成させる。			
第13～15回 全体発表会の発表内容に対する講評をもとにして、発表内容の改善点をレポートにまとめる。			
教科書・参考書等 授業中に適宜紹介します。			
オフィスアワー 水曜日12～14時・幸町北キャンパス5号館5階			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
本授業を履修する学期に、DRIイノベーター養成プログラム対象科目を、本授業を除いて10単位以上取得できる見込みのある学生のみ履修可能です。フィールドワークを行う可能性があるため、「学生教育研究災害傷害保険(略称:「学研災」)」と「学生教育研究賠償責任保険(略称「学研賠」)」に加入してください。			